

研究論文等（和文）

2024

林田 博士, 宮澤 泰正, 美山 透, 馬場 雄也, 木戸 晶一郎 (2024), 海中天気予報, 海の研究, 33(5-6), 89-101, [10.5928/kaiyou.33.5-6_89](https://doi.org/10.5928/kaiyou.33.5-6_89).

2023

杉浦望実 (2023), シグネチャ法入門, 統計数理, 70 (2), 251-267.

2022

磯野哲郎 (2022), 日本の国際 Argo 計画への取組の貢献度に関する評価・分析, 日本海洋政策学会誌, 12, 79-92.

藤木徹一 (2022), アルゴフロートを利用したプランクトンの生態学的研究, 日本プランクトン学会報, 69, 53-54, https://doi.org/10.24763/bpsj.69.1_53.

2021

木田 新一郎・栗原 晴子・大林 由美子・川合 美千代・近藤 能子・西岡 純 (2021), 総説：海洋学の10年展望 2021：沿岸域, 海の研究, 30 (5), 87-104, [doi:10.5928/kaiyou.30.5_87](https://doi.org/10.5928/kaiyou.30.5_87).

土井 威志・安中 さやか・高橋 一生・渡辺 路生・東塚 知己・栗原 晴子 (2021), 総説：海洋学の10年展望 2021：熱帯域, 海の研究, 30 (5), 105-129, [doi:10.5928/kaiyou.30.5_105](https://doi.org/10.5928/kaiyou.30.5_105).

橋濱 史典・瀬瀬 慎也・近藤 能子・佐々木 克徳・杉本 周作・高橋 一生・長井 健容・西岡 純・林田 博士・平井 惇也 (2021), 総説：海洋学の10年展望 2021：中緯度, 海の研究, 30 (5), 131-158, [doi:10.5928/kaiyou.30.5_131](https://doi.org/10.5928/kaiyou.30.5_131).

川合 美千代・田村 岳史・渡邊 英嗣・西岡 純・野村 大樹・真壁 竜介・溝端 浩平・安中 さやか (2021), 総説：海洋学の10年展望 2021：極域, 海の研究, 30 (5), 159-178, [doi:10.5928/kaiyou.30.5_159](https://doi.org/10.5928/kaiyou.30.5_159).

岡 顕・大林 由美子・勝又 勝郎・高橋 一生・山下 洋平・横川 太一 (2021), 総説：海洋学の10年展望 2021：深層, 海の研究, 30 (5), 179-198, [doi:10.5928/kaiyou.30.5_179](https://doi.org/10.5928/kaiyou.30.5_179).

岩本 洋子・相木 秀則・磯口 治・大林 由美子・近藤 文義・近藤 能子・西岡 純 (2021), 総説：海洋学の10年展望 2021：大気海洋境界, 海の研究, 30 (5), 199-225, [doi:10.5928/kaiyou.30.5_199](https://doi.org/10.5928/kaiyou.30.5_199).

平井 惇也・宮 正樹・藤木 徹一・吉田 聡・乙坂 重嘉・帰山 秀樹・加古 真一郎・片岡 智哉・松岡 大祐・日高 弥子・杉山 大祐・小嶋 不二夫 (2021), 総説：海洋学の10年展望 2021：新たな手法と問題, 海の研究, 30 (5), 227-253, [doi:10.5928/kaiyou.30.5_227](https://doi.org/10.5928/kaiyou.30.5_227).

2018

土井威志 (2018), 熱帯と沿岸域の湧昇現象の変動とその予測の研究, 海の研究, 27[3], 141-154, https://doi.org/10.5928/kaiyou.27.3_141

伊藤耕介, 山口宗彦, 沢田雅洋 (2018), 高解像度大気モデル及び大気海洋結合モデルを用いた北西太平洋全域台風予測実験, 気象研究所研究報告, 67, 15-34, [10.2467/mripapers.67.15](https://doi.org/10.2467/mripapers.67.15)

吉野 純, 豊田 将也, 林 実里, 小林 智尚 (2018), 台風強度推定の精度向上のための海洋混合層モデルによるデータ同化実験, 土木学会論文集 B 2 (海岸工学) 74 (2), I_697-I_702

2017

小林大洋 (2017), 深海を測る, *計測と制御*, 56[5], 355-360

2015

小林大洋, 雨池健一 (2015), 深海用プロファイリングフロート「Deep NINJA」の実用化, *水路*, [174], 56-58

小林大洋, 雨池健一, 渡辺和博, 伊野哲郎, 浅川賢一, 須賀利雄, 河野健, 百留忠洋 (2015), 深海用プロファイリングフロート「Deep NINJA」の開発 観測機能に関連した技術要素について, *海洋調査技術*, 27 (1), 19-46

小林大洋, 雨池健一, 渡辺和博, 伊野哲郎, 浅川賢一, 須賀利雄, 河野健, 百留忠洋 (2015), 深海用プロファイリングフロート「Deep NINJA」の開発 ハードウェア的要素技術について, *海洋調査技術*, 27 (1), 1-17

後藤慎平, 小林大洋, 日吉善久, 土屋利雄 (2015), 深海用自動観測フロートによる南極域での音速構造長期モニタリング, *海洋音響学会誌*, 42(2), 59-69

後藤慎平, 土屋利雄, 日吉善久 (2015), アルゴフロートデータによる広域海洋音響変動解析に関する研究, *日本音響学会誌*, 71[4], 171-180

後藤慎平, 土屋利雄, 日吉善久, 水谷孝一 (2015), 海洋観測フロートによって観測された大規模海底地震の震源近傍における音速プロファイルの変化, *海洋音響学会誌*, 42(3), 106-117

2014

後藤 慎平, 土屋 利雄, 日吉 善久 (2014), ARGO データを用いた太平洋域における海洋音響環境の季節変動解析, *日本音響学会誌*, 70[9], 493-496

藤原将平, 磯田 豊, 館野愛実 (2014), 西部北太平洋における海面高度偏差の季節変化, *海の研究*, 197-216, 23[6]

2013

柏野祐二 (2013), 北赤道海流の下の逆向きの海流(北赤道潜流)を発見, *OHM*, 2013年6月号, 96

小橋史明 細田滋毅 岩坂直人(2013), 北太平洋亜熱帯モード水と亜熱帯反流の十年規模変動., *沿岸海洋研究*, 50(2), 119-129

小林大洋 (2013), 深海用プロファイリングフロートの実用化, *工業材料*, 61(7), 67-70

小林大洋 立川道彦 (2013), 国産深海用フロート「Deep NINJA」とそれを用いた南大洋深層観測, *日本海洋学会ニュースレター*, 3(1), 7-8

須賀利雄 (2013), 地球環境の把握に不可欠な全球的海洋観測, *ACADEMIA*, 143, 28-37

須賀利雄, 齊藤寛子, 遠山勝也, 渡邊朝生 (2013), 北太平洋亜寒帯前線帯とその周辺における水塊の形成・変質と沈み込み., *沿岸海洋研究*, 50(2), 103-118

2012

小橋史明, 細田滋毅, 岩坂直人 (2012), 北太平洋亜熱帯モード水と亜熱帯反流の十年規模変動, *海洋理工学会誌*, 50(2), 143-153

小林大洋, 渡辺和博 (2012), 深海用プロファイリングフロート「Deep NINJA」の開発, *日本海洋学会ニ*

ューズレター, 1(4), 5-6

細田滋毅, 平野瑞恵, 佐藤佳奈子, 須賀利雄, 小林大洋, 荻田尚子, 河野健 (2012), 民間船によるアルゴフロート投入 -国際科学プロジェクト「アルゴ計画」への貢献-, *JOS News Letter*, Vol2 No1

2011

君塚政文, 小橋史明, 岩坂直人 (2011), アルゴフロートで観測された三陸沖暖水渦の海水特性と時間変化, *海の研究*, 20(5), 149-156

細田滋毅, 須賀利雄 (2011), Argo 計画-全世界の海洋の変動をリアルタイムで捉える観測システムとその地球環境への貢献-, *Bull.Soc.Sea Water Sci.*, 65, 29-34

2010

石井正好 (2010), Argo と歴史的海洋貯熱量変化, *月刊海洋*, 42(11), 614-620

伊藤進一, 清水勇吾, 寛茂穂, 和川拓, 佐藤政俊 (2010), 水中グライダー観測の実施状況, *月刊海洋*, 42(11), 658-667

大島慶一郎, 中野渡拓也, S.C.Riser, 若土正暁 (2010), オホーツク海・海氷域でのフロート観測, *月刊海洋*, 42(11), 643-653

岡英太郎 (2010), 北太平洋のモード水, *海洋と生物*, 32, 205-210

岡英太郎 (2010), 北太平洋亜熱帯モード水・中央モード水の新たな循環像, *月刊海洋*, 42(11), 628-637

勝又勝郎, 吉成浩志 (2010), アルゴフロートにより推定された中層流速のグリッドデータセット G-YoMaHa, *月刊海洋*, 42(12), 709-714

川合義美 (2010), 極表層水温塩分観測と大気海洋相互作用研究, *月刊海洋*, 42(12), 678-683

河宮未知生 (2010), 生物地球化学モデリングの立場からの提言, *月刊海洋*, 42(12), 702-708

菊地隆・Olaf Klatt・Eberhard Fahrbach (2010), アルゴフロートを用いた極域海洋観測, *月刊海洋*, 42(12), 671-677

小林大洋 (2010), 深海観測用フロートの開発, *月刊海洋*, 42(12), 689-695

須賀利雄 (2010), Argo の成果と可能性, *天気*, 57(10), 762-767

須賀利雄 (2010), 亜熱帯モード水と一次生産, *海洋と生物*, 32(3), 218-225

須賀利雄 (2010), OceanObs'09 の概要と Argo のこれから, *月刊海洋*, 42(11), 609-613

須賀利雄 (2010), 戦略的海洋監視研究-Argo の高度化への取り組み-, *月刊海洋*, 42(11), 654-657

鋤柄千穂, 遠山勝也, 須賀利雄 (2010), Argo フロートにより観測された生物・化学パラメータを用いた物理過程の推定, *月刊海洋*, 42(11), 638-642

中野善之, 藤木徹一, 渡邊修一 (2010), 現場型センサーによる海水中炭酸成分の観測, *月刊海洋*, 42(12), 684-688

中野渡拓也, 三寺史夫, 本井達夫, 大島慶一郎, 石川一郎 (2010), 渦解像海洋大循環モデルで再現される北太平洋中層水の 50 年規模の低温化, *海と空*, 4

羽角博康 (2010), 海洋の物理モデリングから Argo の将来発展への期待, *月刊海洋*, 42(12), 696-701

細田滋毅 (2010), 海洋学の常識を塗り替えるアルゴ (Argo) 計画, *Blue Earth*, 22(1), 12-13

細田滋毅, 平野瑞恵 (2010), 「Argo フロート」, *BlueEarth Special Issue 2010 「むつ研究所 10 年の軌跡」*, 22-23

細田滋毅 (2010), 全球表層塩分変動-Argo によって検出された地球規模の水循環変動-, *月刊海洋*, 42(11), 621-627

水野恵介 (2010), アルゴクロニクル, *月刊海洋*, 42(12), 715-721

2009

井和丸光, 小橋史明, 岩坂直人 (2009), 黒潮続流域南側での冬季混合層時間変動について, *月刊海洋*, 41(12), 697-701

岡英太郎, 植原量行, 鋤柄千穂, 須賀利雄 (2009), 北太平洋亜熱帯モード水の物理・化学・生物過程, *月刊海洋*, 41(12), 667

岡英太郎, 遠山勝也, 鋤柄千穂, 嶋田啓資, 吉田次郎, 須賀利雄 (2009), アルゴと船舶観測による北太平洋亜熱帯モード水の新たな形成・循環像, *月刊海洋*, 41(12), 676-682

小林大洋, 中村知朗, 湊信也, 四竈信行 (2009), アルゴデータの圧力バイアス問題とその影響, *海の研究*, 18(6), 351-391

佐々木泰憲, 谷政信 (2009), MOVE/MRI.COM-WNP における北太平洋亜熱帯モード水の変動, *測候時報*, 76 (特別号), S107-S120

須賀利雄 (2009), 亜熱帯モード水研究の歩みと展望, *月刊海洋*, 41(12), 668-675

鋤柄千穂, 遠山勝也, 須賀利雄 (2009), 亜熱帯モード水が亜熱帯域の生物過程に果たす役割, *月刊海洋*, 41(12), 731-733

遠山勝也, 須賀利雄 (2009), 北太平洋のモード水の鉛直構造, *月刊海洋*, 41(12), 745-749

2008

林和彦 (2008), 東経 137 度線にみられる低渦位水は亜熱帯モード水なのか?, *測候時報*, 75 (特別号), S97-S103

吉成浩志, 瀬藤聡, 奥野章, 安倍大介, 小松幸生, 宮澤泰正, FRA-JCOPE グループ (2008), FRA-JCOPE の再現性に対する Argo データの影響評価, *海と空*, 84(2), 77-84

2007

石崎士郎, 倉賀野連, 齋藤幸太郎, 曾我太三, 石川一郎, 吉田隆 (2007), Argo データの業務的な利用, *月刊海洋*, 39(7), 461-464

岩坂直人, 大野祐子, 岡英太郎, 星本みずほ, 吉田隆 (2007), 海洋混合層の分布と変動, *月刊海洋*, 39(7), 445-449

大野祐子, 岩坂直人 (2007), 2005/2006 年冬期における北太平洋中緯度域の海洋混合層変動について, *気象研究ノート*, 216

蒲池政文, 藤井陽介, 松本聡, Fabrice Hernandez Christopher Maes Tong Lee (2007), GODAE の現状, *月刊海洋*, 39(7), 422-428

小松幸生, 瀬藤聡, 吉成浩志, 清水学, 宮澤泰正, FRA-JCOPE グループ (2007), 海況予測システム FRA-JCOPE での利用による Argo データの水産資源変動研究への効果, *月刊海洋*, 39(7), 465-472

佐藤佳奈子, 須賀利雄 (2007), 水塊変質を担う二重拡散, *月刊海洋*, 39(7), 456-460

- 須賀利雄, 上野洋路, 大西広二, 林和彦, 斎藤寛子, 鋤柄千穂, 遠山勝也 (2007), 表層水塊および成層構造の時空間変動に関する研究の進展と今後の展開, *月刊海洋*, 39(7), 450-455
- 四竈信行 (2007), 国内・国際 Argo の現状, *月刊海洋*, 39(7), 418-421
- 四竈信行 (2007), 近い将来の Argo 関連技術, *月刊海洋*, 39(7), 473-478
- 高槻靖, 四竈信行, 須賀利雄, 中村知朗, 小林大洋 (2007), アルゴ運営チーム (AST) 第 8 回会合報告, *海の研究*, 16, 407-412
- 中村知朗 (2007), Argo 高品質データ, *月刊海洋*, 39(7), 434-439
- 羽角博康 (2007), これからの海洋大循環モデリングと Argo, *月刊海洋*, 39(7), 484-488
- 花輪公雄, 四竈信行, 須賀利雄, 吉田隆 (2007), Argo の現状と課題—海洋学の基盤としての Argo—, *月刊海洋*, 39(7), 413-417
- 細田滋毅 (2007), 海盆スケールの中層水温季節変動と表層塩分変動, *月刊海洋*, 39(7), 440-444
- 吉田隆 (2007), Argo データ管理システム, *月刊海洋*, 39(7), 429-433
- 渡邊修一, 中野善之, 藤木徹一 (2007), Argo における化学計測の可能性と効果, *月刊海洋*, 39(7), 479-483

2006

- 岩坂直人 (2006), 第 2 回アルゴ科学ワークショップ参加報告, *海の研究*, 15, 373-374
- 小林大洋, 須賀利雄, 四竈信行 (2006), プロファイリングフロートによる溶存酸素濃度測定に見られる負バイアス, *海の研究*, 15, 479-498
- 須賀利雄 (2006), Argo コミュニティからの期待, *月刊海洋*, 38(7), 536-539
- 高槻靖, 四竈信行, 水野恵介, 湊信也 (2006), アルゴ運営チーム (AST) 第 7 回会合報告, *海の研究*, 15, 369-373
- 吉田昌弘, 四竈信行, 小林大洋 (2006), 新型プロファイリングフロートの開発 I, *テクノオーシャン*, P-119

2005

- 石川孝一, 高槻靖 (2005), アルゴフロートを使った北西太平洋における中層循環の推定, *測候時報*, 72(特別号), S139-S146
- 石川孝一, 高槻靖 (2005), 北太平洋の中層循環の推定, *月刊海洋*, 37(10), 726-730
- 大西広二, 坂岡桂一郎 (2005), 北太平洋亜寒帯海域における Argo データの利用, *月刊海洋*, 37(10), 736-741
- 蒲池政文 (2005), GODAE と ARGO, *月刊海洋*, 37(10), 709-715
- 須賀利雄 (2005), 北太平洋表層水塊の形成・変質過程, *月刊海洋*, 37(10), 742-746
- 四竈信行 (2005), Argo の現状と未来, *月刊海洋*, 37(10), 697-699
- 四竈信行 (2005), 国際 Argo と国内 Argo の現状, *月刊海洋*, 37(10), 700-704
- 四竈信行 (2005), 技術面での課題と展望, *月刊海洋*, 37(10), 752-755
- 中島宏幸, 小林大洋, 四竈信行, 竹内謙介 (2005), プロファイリングフロートの適切な海面漂流時間 — 欠損のない観測プロファイルを得るために —, *海の研究*, 14, 631-643
- 花輪公雄 (2005), Argo の未来, *月刊海洋*, 37(10), 768-772

- 細田滋毅 (2005), 北太平洋の水温・塩分変動, *月刊海洋*, 37(10), 731-735
- 道田豊 (2005), GOOS の構造改革と OOPC, *月刊海洋*, 37(10), 705-708
- 湊信也 (2005), 遅延品質管理の目的と実際?何処までできたのか?, *月刊海洋*, 37(10), 720-725
- 安田一郎, 渡邊朝生, 伊澤堅志, 能登正幸, 齊藤勉, 建部洋晶 (2005), 混合層・クロロフィルフロートによる黒潮続流域の観測, *月刊海洋*, 37(10), 756-762
- 山中吾郎, 北村佳照 (2005), 気候予測と Argo, *月刊海洋*, 37(10), 748-751
- 吉田隆 (2005), Argo データ管理システム, *月刊海洋*, 37(10), 716-719
- 寄高博行, 木下秀樹, 林王弘道 (2005), 長距離短波レーダーによる黒潮のモニタリング, *月刊海洋*, 37(10), 763-767

2004

- 小林大洋 (2004), アルゴデータ遅延品質管理用歴史的データセット : Selected Hydrographic Dataset(SeHyD), *海洋科学技術センター試験研究報告*, 49, 51-72
- 小林大洋, 伊澤堅志, 井上亜沙子, 四竈信行, 安藤健太郎, 高槻靖, 中島宏幸, 岡英太郎, 細田滋毅, 宮崎基, 岩坂直人, 須賀利雄, 水野恵介, 竹内謙介, JAMSTEC/FORSGC アルゴグループ (2004), PROVOR 型フロートに発生した塩分オフセット問題とその解決, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 49, 107-120
- 小林大洋, 宮崎基, 伊澤堅志, 安藤健太郎, 井上亜沙子, 四竈信行, 竹内謙介, 水野恵介 (2004), プロファイリングフロート用 CTD センサーの長期係留実験, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 49, 121-130
- 湊信也 (2004), アルゴデータシステムとオペレーショナル海洋学, *月刊海洋*, 号外 38, 58-62
- 吉田隆, 湊信也, 小林大洋 (2004), アルゴデータ管理チーム会合出席報告, *海の研究*, 13(3)

2003

- 安藤健太郎, 伊澤堅志, 水野恵介, 細田滋毅, 井上亜沙子, 小林大洋, 四竈信行 (2003), 国産フロート (NINJA) の陸上および実海域試験結果, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 48, 55-66
- 石川孝一, 竹内謙介, 四竈信行, 安藤健太郎, 松本良浩 (2003), アルゴ科学チーム第 5 回会合出席報告, *海の研究*, 12(4), 416-420
- 伊澤堅志, 安藤健太郎, 井上亜沙子, 平野瑞恵, 四竈信行, 水野恵介, 竹内謙介 (2003), 中層フロートのバラスト装置の構築・運用とその評価, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 48, 33-46
- 岩坂直人, 青島桃子, 須賀利雄, 小林大洋, 岡英太郎 (2003), アルゴ事前実験で観測された黒潮続流南方海域の低気圧性渦について, *海の研究*, 12, 215-226
- 大野祐子, 小林大洋, 岩坂直人, 須賀利雄 (2003), アルゴフロートデータを用いた混合層変動についての研究, *月刊海洋*, 35(12), 899
- 角田晋也, 佐々木保徳 (2003), ARGO 漂流フロートを満遍なく展開させる簡便な投入点決定法, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 48, 51-54
- 北村佳照 (2003), 海洋データ同化と海面水温予想, *月刊海洋*, 35(12), 887
- 坂本賢治, 石井正好 (2003), 全球海洋データ同化システムの改良, *測候時報* 70 (特別号), S131-S140
- 四竈信行, 安藤健太郎 (2003), Argo フロートによる観測実施状況, *月刊海洋*, 35(12), 843

- 須賀利雄, 上原裕樹 (2003), Argo データによるモード水の研究-北太平洋亜熱帯モード水の形成・輸送と中規模渦-, *月刊海洋*, 35(12), 893
- 高槻靖, 宮崎基, 井上亜沙子, 安藤健太郎, 伊澤堅志 (2003), プロファイリングフロート用CTDセンサーの現場比較, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 48, 85-94
- 高槻靖, 石川孝一, 小川智 (2003), Argo 計画によって得られる中層循環像, *月刊海洋*, 35(12), 849
- 竹内謙介, 花輪公雄, 北村佳照 (2003), Argo の現状と将来-Argo は海洋学に革命をもたらすか-, *月刊海洋*, 35(12), 837
- 竹内謙介 (2003), 国際 Argo と国内ミレニアムアルゴ, *月刊海洋*, 35(12), 840
- 花輪公雄 (2003), Argo への期待と将来, *月刊海洋*, 35(12), 904
- 細田滋毅, 湊信也 (2003), アルゴフロート・トライトンブイデータを用いた太平洋の水温・塩分客観解析, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 48, 67-84
- 水野恵介(2003), 環境問題への対応と産業、特に水産への応用の展望, *月刊海洋*, 35(12), 873
- 湊信也, 小林大洋 (2003), Argo データの品質管理-0.01 への挑戦-, *月刊海洋*, 35(12), 866
- 宮澤泰正, 山形俊男 (2003), JCOPE 海洋変動予測システム, *月刊海洋*, 35(12), 881
- 水野 恵介 (2003), アルゴフロートのターミネーション方法について, *海の研究*, 12(1), 37-57
- 寄高博行, 木下秀樹, 尾形淳 (2003), 海洋短波レーダー-Argo を補完する観測-, *月刊海洋*, 35(12), 855
- 吉田隆 (2003), アルゴのデータフローの現状, *月刊海洋*, 35(12), 860
- 吉田隆, 湊信也, 小林大洋 (2003), アルゴデータ管理小委員会第 2 回会合出席報告, *海の研究*, 12(2), 231-235

2002

- 石川孝一 (2002), 中層フロートと Argo 計画, *測候時報*, 69 (特別号), S1-S7
- 岩尾尊徳 (2002), 中層フロートと中層循環の観測, *測候時報*, 69 (特別号), S9-S19
- 岩坂直人, 藤田恒美, 水野恵介 (2002), Argo フロート投下手法に関する調査と開発, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 46, 81-94
- 岡英太郎, 伊澤堅志, 井上亜沙子, 安藤健太郎, 四竈信行, 水野恵介, 末広孝吉, 竹内謙介, (2002), Argo フロートの回収は可能か?, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 46, 147-155
- 小林大洋, 中島宏幸, 須賀利雄, 水野恵介, 四竈信行, 竹内謙介 (2002), インド洋高品質気候学データセット (Indian HydroBase), *海洋科学技術センター試験研究報告*, 46, 11-27
- 小林大洋, 細田滋毅, 須賀利雄, 水野恵介, 四竈信行, 竹内謙介 (2002), アルゴフロートデータを用いた最適内挿法による日本南東海域の海況について, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 46, 1-9
- 須賀利雄 (2002), 外洋域における物理環境のモニタリング, *月刊海洋*, 34, 757-761
- 楊燦守, 石田明生, 岩坂直人 (2002), アルゴフロートのターミネーション後の陸上漂着率に関する考察, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 46, 107-122
- 楊燦守, 須賀利雄, 四竈信行 (2002), 黒潮続流域におけるプロファイリングフロートの軌跡, *水工学論文集*, 46, 989-994
- 吉田隆, 高槻靖 (2002), アルゴデータ管理小委員会第 1 回会合出席報告, *海の研究*, 11, 346-349
- 吉田隆 (2002), アルゴデータシステム, *測候時報*, 69 (特別号), S21-S31,
<http://argo.kishou.go.jp/japanese/bunken/yoshida2002/main.html>

吉田隆 (2002), 第 4 回アルゴ科学チーム会合出席報告, *海の研究*, 11(4), 475-479

2001

安藤健太郎 (2001), 海にかかわる人たちの一日 2 海を研究する仕事, *外交フォーラム*, 7月号

伊澤堅志, 水野恵介, 宮崎基, 井上亜沙子, 安藤健太郎, 高槻靖, 小林大洋, 竹内謙介 (2001), プロファイリングフロートの重量調整について, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 44, 181-196

市川泰子, 高槻靖, 水野恵介, 四竈信行, 竹内謙介 (2001), アルゴフロートの滞在深度における流速とその誤差の見積もり, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 44, 81-90

井上亜沙子, 宮崎基, 伊澤堅志, 安藤健太郎, 高槻靖, 水野恵介 (2001), 中層フロート温度・電気伝導度センサー用校正バスの温度特性および校正試験結果, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 44, 1-8

岡英太郎 (2001), ARGO フロートの投入シミュレーション, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 44, 9-16

小林大洋, 市川泰子, 高槻靖, 須賀利雄, 岩坂直人, 安藤健太郎, 水野恵介, 四竈信行, 竹内謙介 (2001), 高品質気候学データセット (Hydrobase) を用いたアルゴデータの品質管理 I, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 44, 101-114

小林大洋, 市川泰子, 高槻靖, 須賀利雄, 水野恵介, 岩坂直人, 四竈信行, 竹内謙介 (2001), 水塊特性に季節変化が見られる密度レンジについて, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 44, 125-138

佐伯理郎 (2001), Argo (アルゴ) 計画, *測候時報*, 68 (特別号), S149-S153, <http://argo.kishou.go.jp/japanese/bunken/saiki2001/main.htm>

四竈信行, 蒲地政文, 岩尾尊徳, 北村佳照 (2001), 中層フロートによる海洋表・中層観測と広域観測システムの設計, *測候時報*, 68 (特別号), S155-S168

須賀利雄 (2001), 第 2 章 第 1 節 気候変動予測に重要な海洋モニタリング, *海と環境*, 日本海洋学会編 講談社, 66-77

高槻靖, 市川泰子, 小林大洋, 水野恵介, 四竈信行, 竹内謙介 (2001), フロートデータ自動処理・品質管理システムの構築, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 44, 17-28

高槻靖, 小林大洋, 市川泰子, 須賀利雄, 安藤健太郎, 水野恵介, 竹内謙介 (2001), Argo 計画におけるデータ管理, *月刊海洋*, 33(5), 322-327

中島宏幸, 高槻靖, 水野恵介, 竹内謙介, 四竈信行 (2001), アルゴフロートの通信状況, *海洋科学技術センター試験研究報告*, 44, 153-162

水野恵介 (2001), アルゴ計画の現状, *日本深海技術協会会報*, 30, 3-9

吉田隆 (2001), 第 3 回アルゴ科学チーム会合報告, *海の研究*, 10, 362-364

2000

佐伯理郎 (2000), ARGO (アルゴ) 計画, *気象*, 44, 16702-16706

水野恵介 (2000), 高度海洋監視システム (ARGO 計画) 構想について, *日本造船学会誌*, 854, 485-490

1999

四竈信行 (1999), 中層フロートによる海洋のモニタリング, *測候時報*, 66 (特別号), S177-S182